

当院における精神科との連携について-心の安らぎをめざし-

長崎腎病院 長崎腎クリニック

○藤原久子、林田めぐみ、丸山祐子、宮崎健一、橋口純一郎、原健二、李嘉明、原田孝司、船越哲

【はじめに】

透析施設において、精神科との連携は大変重要な中の一つである。当院はこれまで特定の精神科医院と連携が取れていたが、突然その医院が閉院し、新たに他の精神科との連携を構築する事となり、その取り組みを報告する。

【当院における具体的な取り組み】

- (1) 地域連携室、医師、看護師長らが、当院の地域における使命の元に、立地条件・バリアフリー等を考慮し精神科医院の選定。
- (2) 実際に患者を紹介。
- (3) 本格的な連携目的にて、当院理事長・院長以下スタッフで精神科医を訪問し、当院の特徴・社会的使命・問題点等を相談した。
- (4) 精神科医から往診の提案があり当院が連携プランを提示、同意を得た。
- (5) 連携プランを、より連携が取りやすい様に数回調整をおこなった。

【結果】

現在では精神科医と円滑に連携ができており、患者、家族、スタッフに「安らぎ」が時折おとずれる。

【まとめ】

精神科との連携の要となるものは、自院の理念や基本方針に立ち返りって使命を再認識し、管理者自ら精神科医に連携を願い行動し、システム化をする事と考える。